

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
数学C		2	全日制・普通科・第3年次	NEXT数学C(数研出版)				
科目の目標		ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資 質・能力の育成に関わ る他教科等との関連	
4月 5月 6月	第1章 平面上のベクトル	17	① 知識・技能 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 ② 思考・判断・表現 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書きし、論理立てて説明する。		
7月 9月	第2章 空間のベクトル	18	① 知識・技能 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 ② 思考・判断・表現 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書きし、論理立てて説明する。		
10月 11月	第3章 複素数平面	17	① 知識・技能 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解すること。ド・モアブルの定理について理解すること。 ② 思考・判断・表現 複素数平面における図形の移動などと関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書きし、論理立てて説明する。		
12月 1月	第4章 式と曲線	18	① 知識・技能 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。曲線の媒介変数表示について理解すること。 ② 思考・判断・表現 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて媒介変数や極座標の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	単元テスト 定期考査 単元テスト 定期考査 提出物 授業への取り組み方	・考え方を数式を用いて論理立てて説明する。	考えたことを板書きし、論理立てて説明する。		
指導時間数の計		70						